

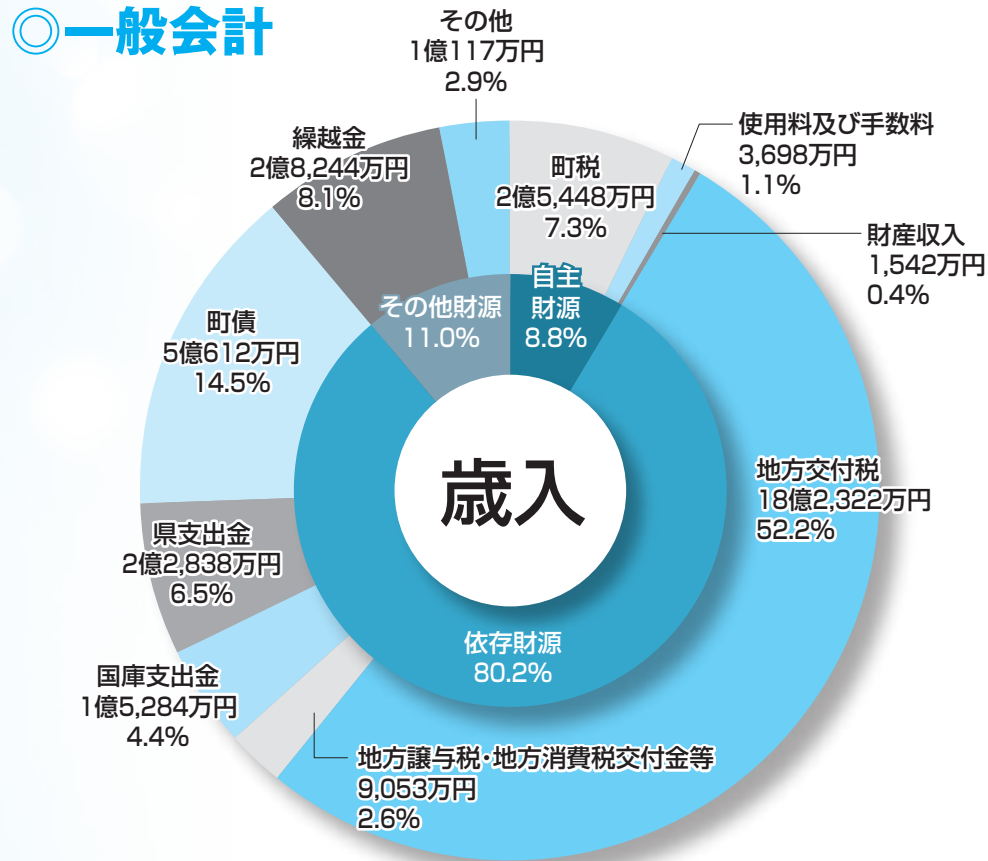
令和元年度池田町 決算報告

みなさんが納めた税金はどのように使われているのでしょうか？ また、町の財政状況はどうなっているのでしょうか？

令和元年度の決算（平成31年4月1日から令和2年3月31日までの収入と支出の実績）を報告します。

※金額は1万円未満を四捨五入しています。

◎一般会計



自主財源

町が自主的に収入できるもの

依存財源

国・県等から交付されるもの

地方交付税

どの自治体でも一定の行政サービスが提供されるよう国から配分されるもの

地方譲与税

自治体が徴収すべきものを国が徴収し、一定の基準に基づいて自治体に譲与されるもの

地方消費税交付金

みなさんに収めていただいた消費税の一部で、県から交付されるもの
※地方消費税率の引上分は、福祉や保健衛生などの社会保障事業に使われています。

国庫・県支出金

町の事業に対し、用途を特定して国や県から支出される補助金や負担金など

町債

建設事業などを行う際の、国や金融機関からの借入

繰越金

前年度からの繰越金

その他

ふるさと納税寄付金や基金からの繰入金、雑収入

町税に占める入湯税：541万円

入湯税は、環境衛生施設や鉱泉源の保護、観光振興等の費用に充てるために温泉施設での入湯に対して課せられる「目的税」です。現在、池田町においては「溪流温泉冠荘」（志津原）でのみ徴収されています。
令和元年度は観光施設整備に使われました。

歳入合計

34億9,157万円

前年度比 1億9,569万円(5.4%)減

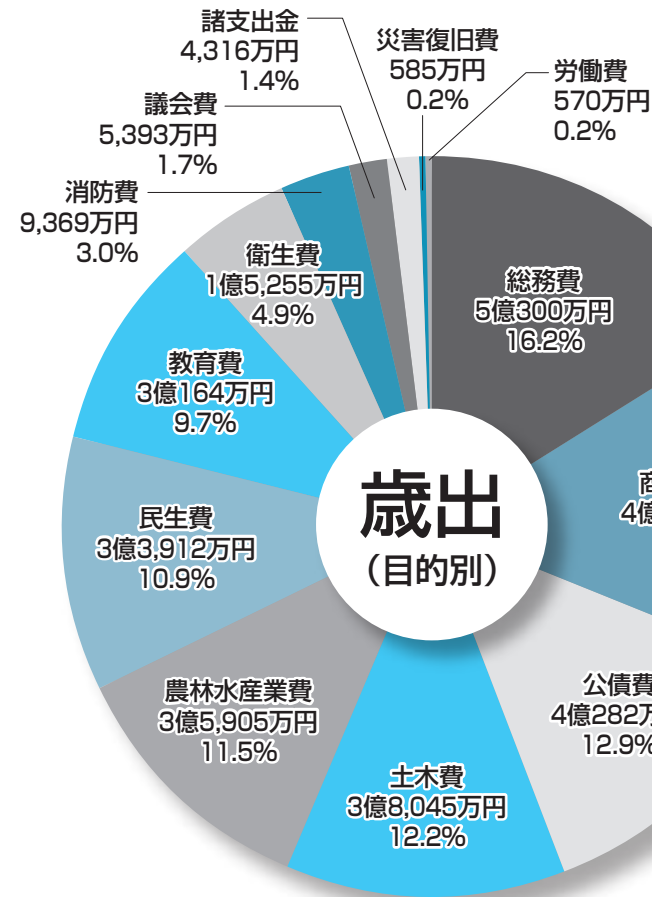
主な要因

- 財政調整基金（➡10P）からの繰入金が減少したため。前年度は庁舎建設基金への振替えを行ったり、国体開催に伴う経費に充当していました。
- 県支出金が減少したため。前年度は国体開催に伴う補助金がありました。

一般会計の収支

歳入－歳出（A）	3億7,846万円
翌年度へ繰り越した事業のための財源（B）	3,287万円
実質収支（A－B）	3億4,559万円
単年度収支（実質収支－前年度の実質収支）	1億2,939万円

「単年度収支」は、当年度の黒字額から、繰越金として引き継いでいた前年度の黒字額を差し引いたもので、当年度の純粋な収支を表します。



総務費

職員人件費、役場庁舎管理、選挙、広報紙発行、防災、公共交通などに使いました。

商工観光費

観光PR、観光施設整備、商工業者支援、町営住宅管理などに使いました。

公債費

国などから借りたお金の返済に使いました。

土木費

道路・橋梁・河川の整備・維持管理、除雪、除雪機械購入などに使いました。

農林水産業費

農林業振興、鳥獣害対策、農業用施設・林道整備などに使いました。

民生費

高齢者や子どもなどの福祉向上に使いました。

教育費

なかよしこども園・小中学校の運営、能楽振興などに使いました。

衛生費

健診、予防接種、ゴミ処理などに使いました。

消防費

消防活動に使いました。

議会費

議員報酬や議会運営に使いました。

諸支出金

庁舎建設基金や財政調整基金などへ積み立てました。

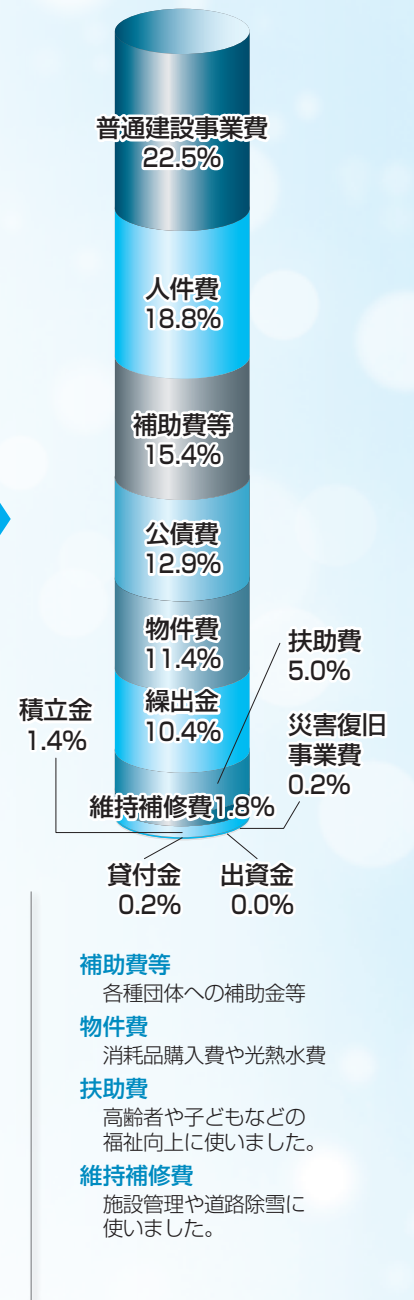
災害復旧費

被災した河川や林道の復旧に使いました。

労働費

商工業者支援に使いました。

歳出の性質別内訳は…



補助費等

各種団体への補助金等

物件費

消耗品購入費や光熱水費

扶助費

高齢者や子どもなどの福祉向上に使いました。

維持補修費

施設管理や道路除雪に使いました。

◎特別会計

特別会計名	歳入	歳出	歳入－歳出
国民健康保険	3億5,836万円	3億5,092万円	745万円
国民健康保険診療施設	1億8,575万円	1億8,861万円	1,714万円
簡易水道	1億5,247万円	1億4,911万円	336万円
下水道事業	2億6,497万円	2億6,416万円	80万円
農業集落排水事業	5,631万円	5,620万円	11万円
介護保険	4億3,212万円	4億734万円	2,477万円
後期高齢者医療	4,375万円	4,333万円	41万円

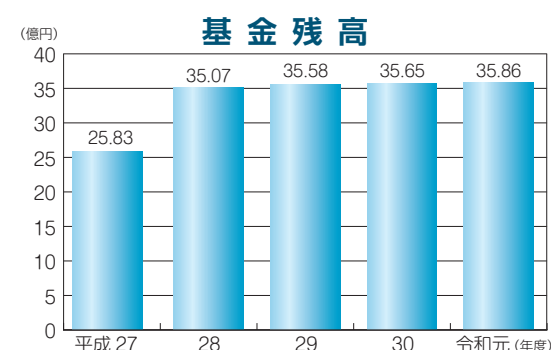
※黒字分は令和2年度へ引き継ぎました。

町の基金（預金）はどれくらいあるの？

残 高

35億8,598万円

将来の財源不足に備えたり、今後実施が見込まれる事業の財源とするために積み立てているお金です。前年度から2,045万円増加しました。



主な内訳（残高上位4種）

区 分	残 高	使 途
財 政 調 整 基 金	11億3,081万円	将来の財源不足に備えます。
庁 舎 建 設 基 金	6億4,163万円	役場新庁舎の建設に備えます。
観光施設整備基金	4億20万円	観光施設の整備に備えます。
減 債 基 金	2億6,574万円	町債の償還に備えます。

町債（借金）はどれくらいあるの？

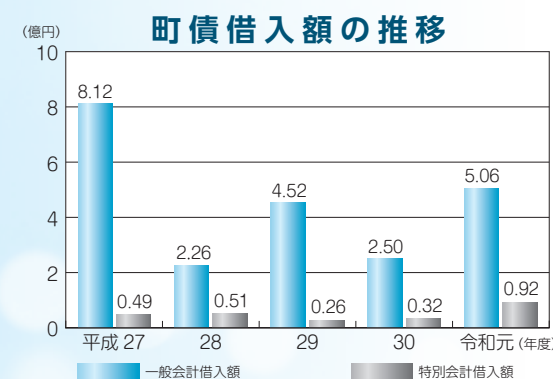
令和元年度借入額

一般会計

5億612万円

特別会計

9,200万円



主な内訳

区 分	令和元年度借入額	残 高	使 途
過疎対策事業債	4億4,510万円	18億8,625万円	道路・農業施設・観光施設の整備や通学バスの運行等に使いました。
臨時財政対策債	5,242万円	6億3,579万円	用途を定めず使いました。
辺地対策事業債	300万円	5億9,635万円	ツリーピクニックアドベンチャーいけだ(志津原)の整備に使いました。

一般会計においては、借入額・残高とも前年度と比べ増加しました。これは「ウッドラボいけだ」や「あそびハウス こどもと森」の整備などに伴う借入れが発生したためです。

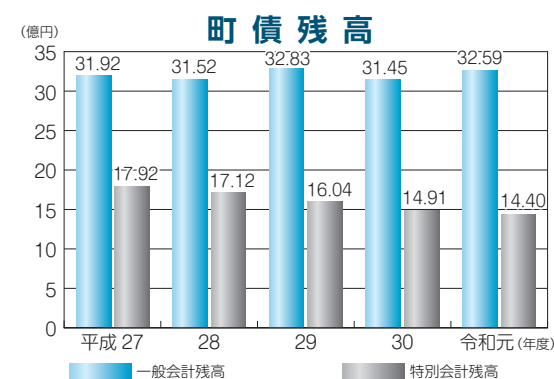
残 高

一般会計

32億5,863万円

特別会計

14億4,010万円



令和元年度 財政指標状況

財政指標とは、自治体財政の健全性をチェックするためのものです。池田町を含む地方公共団体は、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律（財政健全化法）」に基づき、決算の数値を使って4つの「健全化判断比率」を計算し、公表することが義務づけられています。

健全化判断比率(%)

	池田町	早期健全化基準 (危険な数値)	財政再生基準 (極めて危険な数値)
実質赤字比率	—	15.0	20.0
連結実質赤字比率	—	20.0	30.0
実質公債費比率	5.3	25.0	35.0
将来負担比率	—	350.0	

実質赤字比率

一般会計の赤字の大きさを示す指標。令和元年度は黒字のため、数値は発生しませんでした。

連結実質赤字比率

特別会計を含むすべての会計の赤字を合算した、地方公共団体全体としての赤字の大きさを示す指標。令和元年度は黒字のため、数値は発生しませんでした。

実質公債費比率

経常的に収入される財源のうち、町債償還（借入金の返済）に充てる割合を示す指標。直近3か年の平均が用いられます。

前年度と比較し、1.3%増加しました。令和元年度の償還金が増加したことによるものです。

将来負担比率

町債残高などの将来負担すべきものが、町税や地方交付税といった町の収入に対してどの程度の割合なのかを示す指標。この比率が悪化すると、将来的に町債償還が財政を圧迫する（借金で首が回らなくなる）ことを意味します。

令和元年度は数値は発生しませんでした。財政調整基金等への積立てを継続して行っていることや、町債の多くが普通交付税による補填割合の高い（実質返済額の低い）「過疎債」「辺地債」であることが理由として挙げられます。

各指標が「早期健全化基準」や「財政再生基準」を超えるとどうなるの？

現在、池田町はどの指標も基準内に収まっていますが、もし超えてしまうと、財政健全化や再生のための計画を定め実行に移さなければなりません。国・県の勧告を受けたり、町債の発行が制限されることもあります。

資金不足比率(%)

	資金不足比率(%)	経営健全化基準 (危険な数値)
簡 易 水 道 特 別 会 計	—	20.0
下 水 道 事 業 特 別 会 計	—	
農業集落排水事業特別会計	—	

公営企業（下水道事業など）の赤字の大きさを示す指標。令和元年度は黒字のため、数値は発生しませんでした。

町財政の今後の見通し

令和元年度の町財政はおおむね良好な状況であったことがわかりました。

しかし今後、観光施設などの整備のため発行してきた町債の償還が始まったり、各種施設の維持管理費が増加したり、役場新庁舎整備など大型事業の財源として基金を取り崩したりすると、悪化する可能性があります。危険な状況に陥ることのないよう、慎重かつ効率的な運営が求められています。

